

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	国際観光課	職	課長	氏名	北口 義一
評価者	組織	国際観光課	職	課長	氏名	北口 義一

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	海外誘客の促進	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	683,862 (H30)	767,270 (R1)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
施策1	課題1	東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度の向上及び誘客の促進	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	683,862 (H30)	767,270 (R1)	1 ほっと石川観光推進ファンド事業資金貸付金	外国人観光客	7,300	7,300	B	継続
								2 海外誘客情報発信事業費	外国人観光客	141,603	119,771	A	継続
	課題2	外国人受入環境の充実	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	683,862 (H30)	767,270 (R1)	3 海外誘客受地整備事業費	外国人観光客	15,660	13,470	B	継続

※人数については暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主任主事 高 尚也

1 目 的

平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほっと石川観光推進ファンドを活用して実施する海外誘客促進事業の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

2 事業の概要

貸付先: (公社)石川県観光連盟
 貸付額: 7,300千円
 ※令和元年度は、(公社)石川県観光連盟への補助事業により、Webサイトの改修等を実施し、補助金が例年に比べ増額となったことから、連動して事業実施に必要な貸付金が減額となった。

【参考】事業実施内容

東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた海外誘客

(1) 海外MICE誘致の推進
 欧米等に広いネットワークを持つ東京都との連携による国際見本市への出展、相互の魅力を活かした視察旅行の受け入れ、海外共同プロモーションの実施 など

※MICE: Meeting(会議・研修)、Incentive(報奨旅行)、Conference(国際会議・学術会議)、Exhibition(展示会)の4つの頭文字を合わせた言葉

(2) 海外富裕層誘客の促進
 先進的に富裕層誘客に取り組む京都市など5自治体による連携組織へ参画しての、富裕層向け旅行見本市への出展や広告掲載 など

施策・課題の状況						
施策	海外誘客の促進				評価	B
課題	東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度の向上及び誘客の促進					
	指標	外国人宿泊者数			単位	人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	1,000,000	363,399	529,473	606,419	683,862	767,270
事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算		30,000	20,500	22,000	7,300
	決算		39,000	20,500	22,000	7,300
一般財源	予算			0	0	0
	決算			0	0	
事業費累計			39,000	59,500	81,500	88,800
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	海外MICE誘致のため東京都と連携し、国際見本市への出展や、相互の魅力を活かした視察旅行等を実施した。 (R1: 見本市1回出展、2カ国9名招へい、国内旅行会社4社6名招へい) また、富裕層誘客の促進のため京都市等と連携し、旅行見本市への出展や広告掲載等を実施した。(R1: 見本市1回出展、広告掲載1回、事業者向けセミナー1回) これらの取組みにより、海外での本県の認知度の向上と情報発信の強化を図ることができた。			
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	海外誘客の促進に向け、旅行会社などとのネットワークの構築や認知度の向上について、中長期的な視点での事業実施が必要であることから、引き続き、(公社)観光連盟が実施する事業に対し必要な資金の貸し付けを行う。			

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客情報発信事業費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主任主事 高 尚也
						者 電話番号	076 - 225 - 1124 内線 3969

1 目 的
海外からの誘客で最も重要な認知度向上を図るため、海外における旅行イベントへの出展、メディアへの露出、現地旅行会社への商品造成支援や観光セミナーの開催など、各種観光プロモーション活動を実施する。北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの定着を図る。

2 事業内容
(1)北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの普及
① 北陸アーチパスを活用した情報発信
・沿線自治体との連携による国際旅行博への出展やメディア招へい（欧米豪、東南アジア、香港）など
②昇龍道フリーバスきっぷ等を活用した周遊観光の促進
・沿線各県との連携によるメディア招へい

(2)国や地域の特徴に応じた戦略的な海外誘客の推進
①個人旅行者に対する情報発信の強化
・世界最大手のインターネット動画サイトを活用した観光PR
②小松空港定期便を活用した誘客活動の展開
・旅行商品造成のためのメディア招へい、広告掲載支援 など
③小松・香港定期便化を契機とした誘客推進(香港)
④ターゲットを絞った誘客の促進
・アフタースキー客の誘客(豪州)
・教育旅行の誘致(台湾)
・スポーツ・レジャーツアーの誘致(台湾、中国)
・東南アジアからの団体旅行誘客の促進 など
⑤東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた誘客促進
・観光セミナーや海外旅行会社の招へい、セールスコールなど

施策・課題の状況							
施策	海外誘客の促進				評価	B	
課題	東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度の向上及び誘客の促進						
	指標	外国人宿泊者数				単位	人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	1,000,000	363,399	529,473	606,419	683,862	767,270	
事業費							
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算	98,670	79,040	82,400	92,515	141,603	
	決算	119,737	105,519	83,642	104,259	119,771	
一般	予算	14,840	74,940	55,650	61,665	103,203	
財源	決算	43,492	76,939	56,916	66,779	89,081	
事業費累計		306,757	412,276	495,918	600,177	719,948	
評価							
	項目	評価	左記の評価の理由				
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	R1は旅行博出展等を通じ、広域的な観光情報の発信に取り組んだほか、さらなる誘客の拡大が期待できる東南アジアや欧米豪をはじめとする国や地域の特徴に応じた効果的な旅行商品の造成支援や情報発信(旅行会社・メディア等視察招へい 15か国24件)等を行った。 (参考)地域別の外国人宿泊者数 台湾:185,533人(前年比6%増) 韓国:19,566人(前年比20%減) 中国:88,404人(前年比33%増) 香港:68,913人(前年比3%増) 欧米豪:221,972人(前年比10%増) 東南アジア:61,909人(前年比5%増)				
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	北陸新幹線金沢開業後の入込の増加が著しい欧米豪からの誘客を強化するため、本県入込のうち欧米豪の上位5か国の旅行会社の招へいや商品造成支援を行うほか、海外旅行会社に対し訪日旅行の手配・企画を行う国内ランドオペレーター向けの観光セミナーを開催する。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 海外誘客受地整備事業費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	国際観光課			
	職・氏名	主任主事 高尚也			
	電話番号	076 - 225 - 1124 内線 3969			

1 目的

外国人観光客が、快適な県内観光を楽しめるよう、観光事業者、有識者とも連携しながら、情報の収集・分析にあたるとともに、県内事業者に対して受け入れに関する意識啓発並びに必要な支援の実施や、県内の観光素材の発掘・磨き上げ等を実施することにより、外国人旅行者の利便性及び満足度の向上を図る。

2 事業内容

<情報の収集・分析>

- ・外国人旅行者動態調査
- ・受入環境整備状況調査

<利便性の向上>

①観光事業者等への意識啓発

- ・インバウンド研究会等の開催
- ・飲食店・商業施設 等を対象とした出張セミナーの開催

②観光事業者等への支援

- ・外国人電話通訳サービスの実証事業

<観光素材の発掘・磨き上げ>

- ・旅行商品造成責任者による外国人旅行者向け本県観光素材への指導・助言

<魅力発信>

- ・レンタカーを活用した広域周遊の促進のための、外国人向けドライブマップの制作（繁体字版）
- ・伝統文化の体験プログラム等を掲載したリーフレットの作成
- ・加賀・能登へのガイド付きモニターツアーの開催

施策・課題の状況							
施策	海外誘客の促進					評価	B
課題	外国人受入環境の充実						
	指標	外国人宿泊者数				単位	人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	1,000,000	363,399	529,473	606,419	683,862	767,270	
事業費							
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算	9,000	2,170	5,000	4,450	15,660	
	決算	21,844	1,888	4,418	7,383	13,470	
一般	予算	9,000	2,170	5,000	4,450	14,160	
	決算	4,924	1,888	4,418	5,383	12,230	
財源	決算	4,924	1,888	4,418	5,383	12,230	
事業費累計		35,754	37,642	42,060	49,443	62,913	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	<p>県内観光事業者や市町担当者を対象に、インバウンドセミナー、研究会を開催し、多様化する外国人旅行者の受入意識の啓発を図った。</p> <p>※インバウンドセミナー 3回開催(112人参加)</p> <p>インバウンド研究会 1回開催(13人参加)</p> <p>また、外国人向けドライブマップの制作・配布(繁体字5千部)や本県観光素材の発掘・磨き上げ(5コンテンツ)に取り組み、外国人旅行者の本県における利便性・満足度の向上を図った。</p>					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	<p>増加する外国人観光客の受入体制の充実を図るため、引き続き県内事業者に対する意識啓発や、快適な観光のための情報発信を実施するとともに、外国語観光ガイドの育成や、道の駅を活用したレンタカーによる周遊観光促進キャンペーンの実施等に取り組む。</p>					